

▼プリジスタ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ダルナビル エタノール付加物 Darunavir Ethanolate 【分類】 抗 HIV 薬 [PI]

【単位】 ▼600mg/錠

【常用量】 1回 600mg とリトナビル 1回 100mg をそれぞれ 1日 2回食事中又は食直後に併用 [他の抗 HIV 薬と併用]

【用法】 1日 2回食事中もしくは食直後

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (サンフォード感染症治療ガイド)

【その他の報告】 透析患者での PK (Giguere P, et al: AIDS 23: 740-2, 2009 PMID: 19279448)

【CRRT】 CRRT 施行時に胃管からの投与した報告 (Taegtmeier AB, et al: AIDS 25: 1339-41, 2011 PMID: 21659798)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (サンフォード感染症治療ガイド)

【特徴】 抗 HIV プロテアーゼ阻害剤

【主な副作用・毒性】 SJS, TEN, 肝機能障害, 急性脾炎, 免疫再構築症候群, 過敏症, 高トリグリセリド血症, 脂質異常症, 悪夢, 錯乱, 頭痛, めまい, 頻脈, 高血圧, 消化器症状, 筋肉痛など

【安全性に関する情報】 浮動性めまいが報告されているので自動車の運転等危険を伴う機械の操作には注意 (1)

【F】 単独 37%, リトナビル併用 82% (1)

【tmax】 1~4hr (1)

【代謝】 に肝臓または小腸において CYP3A4 により代謝 (1) 代謝物の活性は未変化体の 1/10 以下 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 7.7% [po] (1)

【CL】 $32.8 \pm 7.0 \text{L/hr}$ [iv], 経口リトナビル併用時 $\text{CL/F} = 5.911 \pm 2.122 \text{L/hr}$ [po] (1)

【t1/2】 17.8hr (1)

【蛋白結合率】 95% [主に AAG] (1)

【Vd】 単独 88.1L/man [iv], 経口リトナビル併用時 $\text{Vd/F} = 130.8 \text{L/man}$ [po] (1)

【MW】

【透析性】 HD, PD とも除去される可能性は低い (1) 除去されないと思われる (5)

【OW 係数】

【相互作用】 CYP3A4 に関連して併用禁忌が多数あり注意 (1) リトナビルと併用されるのでその相互作用にも注意 (1) 本剤およびリトナビルの CYP3A4 に対する阻害作用又は P-gp 阻害作用があり, 腎機能あるいは肝機能障害患者でコルヒチンを投与中の患者は投与禁忌 [コルヒチンの AUC が 3 倍に増大] (1) CYP3A4 および OATP1B 阻害によるグラブプレビルの血中濃度上昇 (1)

【更新日】 20230626

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。